

補助事業実績報告ホームページ掲載書

平成 30 年度 公益財団法人新潟市国際交流協会市民国際活動促進補助金交付事業

| | |
|----------------|---|
| 補助事業名 | ～開港 150 周年記念～日ロ歴史交流フォーラム |
| |  |
| 団体名 | ～開港 150 周年記念～日ロ歴史交流フォーラム 2019 実行委員会 |
| 実施目的 | 開港 150 周年記念事業として日ロ歴史交流フォーラム 2019 を開催する。「なっちゃんの写真館」で有名な立木写真館の立木さとみ氏の「写真が繋ぐ日ロ交流」と題する講演会を開催し、「日ロ友好交流の促進」を図る。 |
| 実施期間 | 平成 31 年 3 月 22 日 (金) 午後 4 時～5 時 30 分 |
| 実施場所 | クロスパル 4 階映像ホール |
| 実施内容 (主な活動) | <p>3 月 22 日、お話もご本人も怒涛のような講演会が開催されました。</p> <p>ロシア兵捕虜収容所の一枚の写真からこの物語は始まります。撮影をしたのは、立木さとみさんの曾祖父立木真一氏。</p> <p>一枚の写真を手掛かりにロシアからメールを送り、日本へとやってきたロシア元捕虜兵のひ孫にあたるアリョーナさん。そこから今に続く怒涛の展開。</p> <p>あっという間の一時間半でした。</p> <p>印象に残ったのは、写真の力というか価値を再発見したこと、111 年の時を超えてつなげてくれるその力、そして捕虜収容所の集合写真ですが、そこに映るロシア兵がくつろいで和やかな雰囲気がいっぱい満ち満ちていることです。</p> <p>当時の日本人がロシア兵を厚くもてなしたことが見て取れます。日本人のおもてなしの精神に何故か感動しました。</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>この講演会は新潟港開港 150 周年を記念しての事業でもありましたが、幕末の開港の一つ、新潟に最初に着いた船がロシア船だという縁もありました。一昨年、新発田市にある吉原写真館吉原代表とのご縁により新発田市と敬和学園大学で講演会が開催されました。その内容が素晴らしく、ぜひ、県都新潟市においても多くの人々にこの話をお聞かせしたい、写真を通じてロシアとの交流を深める場を持ちたいとの思いから講演会を開催した次第です。質問の中で、第二次世界大戦をロシアで体験され捕虜となったお父さんのお話をされた方がおりました。ロシアの捕虜生活は辛苦の思いもあつたと思いますが、捕まった冬の日、暖をとるよう優しく接してくれたロシアの人々もいたというエピソードも聞くことが出来ました。</p> <p>この講演会が今後共ロシアと日本、新潟の友好と平和、親善の一助となりますことをそして文化を共有する積極的な民間外交へと発展することを願ってやみません。講演会に参加された皆様の感動された顔を拝見しますと、当初の目的は達成されたと思います。</p> |
| 総事業費 | 263,364 円 |
| 補助金確定額 | 107,000 円 (新潟市国際交流協会が記入) |

*このままホームページに掲載します。



_DSC0855



_DSC0856



_DSC0857



_DSC0858



_DSC0859



_DSC0860